

科目名	修了制作	単位数	1 単位	科目コード	BM			
授業形態	講義 演習 実習	対象学生	1 年生	開設期	1年後期			
受講条件	共通課目	開設時期		教員実務経験対象	※一部あり			
授 業 概 要 （目的、目標とする資格・検定等）	【修了制作】ヘアカラー基礎と総合基礎、美容実習、理論を含め習得した技術、知識を活用し、指定ウィッグを使用して「ヘアデザイン」「メイク」「ヘアカラー」「アレンジ」等駆使し、テーマに沿った作品を一人1 点仕上げる。							
授業の一般目標	1 年生習得技術、知識の集大成となり、進級判定必須課題となる。							
受講条件	美容学科昼間課程 1 年在籍であること							
事前学習について（テキスト・参考書等）	ウィッグデザインのフォト等 各自のコレクションブック、ヘアカラー基礎知識のプリント、美容技術理論（日本理容美容教育センター発行）参照とする。							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 ヘアカラー基礎に重点を置き、正しい知識、正確な技術習得度を8 0 %基準（カラー選択、時間）で評価する。								
☒ 思考・判断の観点 ヘアカラーの色選定と発色の基礎知識を活用し、正しく表現することを評価する。								
☐ 関心・意欲の観点								
☒ 態度の観点 事前のシミュレーション等、課題を正確に熟すたに取り組む姿勢全般を評価する。								
☒ 技能・表現の観点 課題のテーマ、規定を順守し、仕上がった作品に投票制（在校生、保護者、関係者）を設け、評価対象に加える。								
授業計画（全体）								
【修了制作】指定ウィッグをテーマに沿った作品を制作するにあたり、ヘアカラー、カット、アレンジ、メイク等用いて3 0 時間で1 作品を仕上げる。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1 ～ 2	ヘアカラー基礎		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
3 ～ 1 0	ヘアカラー概論、色彩学		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	ヘアカラー剤の基礎知識と薬剤の作り方		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	カラーチャート作成		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	ブリーチ実習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	ヘアカラー塗布技術 リタッチ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	ヘアカラー塗布技術 ワンタッチ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	カラーチェンジ方法		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
1 1 ～ 1 5	総合演習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	ヘアカラーまとめ・総評		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	修了制作		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	デザイン、デッサン、制作計画、薬剤選定		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
1 6 ～ 3 0	制作実習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	制作、展示、まとめ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
成績評価方法								
1 テーマに沿った課題に対し、習得した知識、技術をテーマに沿った自由な思考と応用で3 0 時間で1 課題を制作する。採点は投票制を用いる。								
2 創作、制作時に取り組む姿勢と熱意を評価する。								
3 修了制作では、未完成の場合、単位を認めない。								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								S（4）：9 0 点以上
小テスト								A（3）：8 0 点以上
宿題授業外レポート								B（2）：7 0 点以上
授業態度				◎			10%	C（1）：6 0 点以上
発表・作品	◎	◎			◎		90%	D（0）：5 9 点未満
演習							評価なし	未修得
出席				8 5 %以上出席率		未完成単位不可		
担当教員	郡司・美容学科資格取得者教員		実務経験紹介		サロン勤務経験者・美容師養成施設指導資格者			

科目名	総合基礎（カット・カラー）		単位数	2単位	科目コード	BM		
授業形態	講義 演習 実習		対象学生	1年	開設期	1年全期		
受講条件	共通課目		開設時期		教員実務経験対象	○		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	【ヘアカラー】1年後期、ヘアカラー基礎理論、色彩学を習得、最新のカラー剤概要を理解し、実際の基礎技術を習得する。 【カット基礎（ヘアデザイン）】ルーローカットを用いて、ベーシックカット（ワンレングス、グラデーション、レイヤー）でシザーワーク等基本的なカットスタイルを習得する。							
授業の一般目標	規定時間内に指定スタイルができるようになる。							
受講条件	美容学科昼間課程1年							
事前学習について（テキスト・参考書等）	プリント、ヘアカラー、カット基礎「日本理容美容教育センター」発行、美容実習1・2							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 基礎技術の知識、技術を理解し、習得する。（基礎技術80%以上理解、習得）								
☒ 思考・判断の観点 基礎技術を使って様々な条件のスタイルをイメージできる。								
☐ 関心・意欲の観点								
☒ 態度の観点 メモをとる、理解不足、質問、再現等積極的行動を重視する。								
☒ 技能・表現の観点 規定時間内で60～80%の仕上がりを重視する。								
授業計画（全体）								
【カット基礎（ヘアデザイン）】基礎カットの3課題を80%（時間、仕上がり度合い）のレベルに到達する。 【ヘアカラー基礎】ヘアカラーの基礎理論、基礎技術を習得し、グレイカラー、ファッションカラーの各カラー剤選択から塗布技術、その他、カラーシャンプー技術など、基礎技能を習得する。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～30	ベーシックカット概論 シザーワーク、ワンレングス			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌		
	ワンレングスカットⅠ			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌		
	ワンレングスカットⅡ			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌		
	ワンレングスカットⅢ			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌		
	グラデーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌		
	レイヤーⅠ・Ⅱ・Ⅲ			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌		
31～60	ヘアカラー基礎Ⅰ			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌		
	ヘアカラー基礎Ⅱ			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌		
	ヘアカラー概論、色彩学			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌		
	ヘアカラー剤の基礎知識と薬剤の作り方			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌		
	カラーチャート作成			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌		
	ブリーチ実習			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌		
	ヘアカラー塗布技術 リタッチ			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌		
	ヘアカラー塗布技術 ワンタッチ			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌		
	カラーチェンジ方法			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌		
	総合演習			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌		
	ヘアカラーまとめ・総評			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌		
成績評価方法								
1 試験は、検定取得レベル、または課題達成レベルの基準に対し、基礎知識と基礎技術習得度を評価する。								
2 授業態度として、検定取得レベル、または課題仕上げレベルに対し、取り組む姿勢、意欲、思考を評価対象とする。								
3 3課程それぞれ、85%以上出席とする。								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎				◎		70%	S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	B（2）：70点以上
授業態度		◎	◎	◎			30%	C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	D（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得
出席						85%以上出席		
担当教員		糸賀・郡司		実務経験紹介	サロン勤務経験者			（ ）内はG P点数

科目名	総合基礎（ネイル）	単位数	1単位	科目コード	BM			
授業形態	講義 演習 実習	対象学生	1年	開設期	1年全期			
受講条件	共通課目	開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要 （目的、目標とする資格・検定等）	ネイル3級：ネイルの基礎技術、理論を学び、JNECネイル検定3級取得を目指す。							
授業の一般目標	ネイル検定3級取得。							
受講条件	美容学科昼間課程1年							
事前学習について （テキスト・参考書等）	「JNAテクニカルベーシック」NP0法人日本ネイリスト協会発刊、各課題に必要な用具類一式							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 基礎技術の知識、技術を理解し、習得する。（基礎技術80%以上理解、習得）								
☑ 思考・判断の観点 基礎技術を使って様々な条件のスタイルをイメージできる。								
☐ 関心・意欲の観点								
☑ 態度の観点 メモをとる、理解不足、質問、再現等積極的行動を重視する。								
☑ 技能・表現の観点 規定時間内で60～80%の仕上がりを重視する。								
授業計画（全体）								
【ネイル3級】ネイル検定3級取得目標とし、ネイルの基礎知識、基礎技術を習得する								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等		授業の記録				
1	ネイル概論	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
2	ネイル用具と使用方法Ⅰ	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
3	ネイル用具と使用方法Ⅱ	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
4	ネイルの歴史	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
5	爪の構造と働き	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
6,7	ネイルのための皮膚科学	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
8	爪の病気とトラブル	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
9	消毒法	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
10	香粧品学	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
11,12	3級検定対策Ⅰ（プレマニキュア）	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
13,14	3級検定対策Ⅱ（プレマニキュア）	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
15,16	ネイルケア（手指消毒、ポリッシュオフ、ファイリング）	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
17,18	ネイルケア（キューティクルクリーン、カラーリング）	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
19,20	ネイルケア（キューティクルクリーン、カラーリング）	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
21,22	筆記試験演習、実技演習	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
23,24	筆記試験演習、実技演習	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
25,26	筆記試験演習、実技演習	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
27	検定対策	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
28	検定対策	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
29	検定対策	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
30	検定対策	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌				
成績評価方法								
1 試験は、検定取得レベル、または課題達成レベルの基準に対し、基礎知識と基礎技術習得度を評価する。								
2 授業態度として、検定取得レベル、または課題仕上げレベルに対し、取り組む姿勢、意欲、思考を評価対象とする。								
3 3課程それぞれ、85%以上出席とする。								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎				◎		70%	S（4）：90点以上 A（3）：80点以上 B（2）：70点以上 C（1）：60点以上 D（0）：59点未満 未修得 （ ）内はGP点数
小テスト							評価なし	
宿題授業外レポート							評価なし	
授業態度		◎	◎	◎			30%	
発表・作品							評価なし	
演習							評価なし	
出席						85%以上出席		
担当教員	伊藤			実務経験紹介	サロン勤務経験者・ネイリスト検定委員			

科目名	総合基礎（メイク・ヘアアレンジ・まつエク）		単位数	2単位	科目コード	BM		
授業形態	講義 演習 実習		対象学生	1年	開設期	1年全期		
受講条件	共通課目		開設時期		教員実務経験対象	○		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	メイク：メイクの基礎技術を学び、JMAメイク検定3級取得を目指す。 ヘアアレンジ：基礎アップスタイル3～5種を補助無しでできるようになる。また、アレンジの編み込み、ダウンスタイル、パーティースタイルのアレンジ力を養う。 まつエク：まつ毛エクステンションの装着基礎のテーピング、ツイザーの持ち方等基礎的な装着方法を学ぶ。							
授業の一般目標	メイク検定3級取得。ヘアアレンジは規定時間内に指定スタイルができるようになる。まつエクは指定時間内に装着出来るようになる。							
受講条件	美容学科昼間課程1年							
事前学習について（テキスト・参考書等）	プリント、「JMAメイク検定3級テキスト」JMA発行、まつエク・ヘアアレンジ「日本理容美容教育センター」発行、美容実習1・2							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 基礎技術の知識、技術を理解し、習得する。（基礎技術80%以上理解、習得）								
☒ 思考・判断の観点 基礎技術を使って様々な条件のスタイルをイメージできる。								
☐ 関心・意欲の観点								
☒ 態度の観点 メモをとる、理解不足、質問、再現等積極的行動を重視する。								
☒ 技能・表現の観点 規定時間内で60～80%の仕上がりを重視する。								
授業計画（全体）								
【ヘアアレンジ】アレンジ基礎のアップスタイルベーシック、ダウンスタイルベーシック、基礎課題を補助なしでできるまでになる。 【メイク3級】メイク検定取得目標とし、メイクの基礎全般の知識、技術を習得する。 【まつ毛エクステンション】まつ毛エクステンションの装着の基礎を習得する。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～15	メイクアップ概論・メイクアップ用具の基礎知識と使用方法Ⅰ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	メイクアップ用具の基礎知識と使用方法Ⅱ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	スキンケアⅠ 手指消毒～クレンジングまで		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	スキンケアⅡ クレンジング～ベースメイクアップまで		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	スキンケアⅢ ベースメイクアップ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	スキンケアⅣ ローライト、ハイライト、チークまで		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
16～30	メイク検定3級 検定対策		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	メイク検定3級 検定対策		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	メイク検定3級 検定対策		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	模擬試験		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	模擬試験		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	実技試験・総評		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
31～45	ヘアアレンジ基礎（まとめる・編み込む・ヘアアイロン技術）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	ヘアアレンジ基礎（まとめる・編み込む・ヘアアイロン技術）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	ヘアアレンジ基礎（アップスタイル）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	ヘアアレンジ基礎（アップスタイル）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	創作アレンジⅠ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	創作アレンジⅡ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	実技試験・総評		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
46～60	まつ毛エクステンション（基礎）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
	まつ毛エクステンション（基礎）・テスト・評価		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		教務日誌			
成績評価方法								
1 試験は、検定取得レベル、または課題達成レベルの基準に対し、基礎知識と基礎技術習得度を評価する。 2 授業態度として、検定取得レベル、または課題仕上げレベルに対し、取り組む姿勢、意欲、思考を評価対象とする。 3 3課程それぞれ、85%以上出席とする。 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎				◎		70%	S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	B（2）：70点以上
授業態度		◎	◎	◎			30%	C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	D（0）：59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席						85%以上出席		（ ）内はG.P点数
担当教員	川元・楠・本多・金次			実務経験紹介	ワロフ勤務経験者・まつ毛エクステンション検定委員・メイクアップ検定委員			